

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部環境にやさしい課		担当課長名	北浦 博	
(※)第1期実施計画の事業名	環境基本計画推進事業		財務会計上の事業名	環境基本計画推進事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3041	1	財務会計上の短縮番号	3535	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目1地球環境施策の推進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	平成22年度に策定した「池田市新環境基本計画」を市民、事業者、行政等の協働により推進する。
事業の対象(誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法(どのように)	・各種主体との協働事業の実施、しくみ作り ・計画の進捗にかかる調査(環境保全審議会) ・市地球温暖化防止実行計画の策定 ・計画の進捗状況の調査及び推進方法の検討 など
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成13年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	環境基本法第36条、地球温暖化対策の推進に関する法律第20条第3項

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25			
事業費(千円)	1,026	1,015	1,056	3,074	104.0%			
主な内訳	消耗品費	8	1	12	25	1200.0%		
	印刷製本費	299	300	308	309	102.7%		
	調査委託料	693	693	713	2,713	102.9%		
人件費(人・千円)	0.90	7,020	0.90	7,020	0.90	6,840	100.0%	
内訳	正職員	0.90	7,020	0.90	7,020	0.90	6,840	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	-
	アルバイト	0	0	0	0	0	0	-
支出合計 A	8,046	8,035	8,076	9,914	100.5%			
財源	国・府支出金							-
	地方債							-
	その他財源							-
	うち受益者負担 B							-
	一般財源 C	8,046	8,035	8,076	9,914	100.5%		
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
受益者負担率 B÷A					-			
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し							
上記の内容								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	新環境基本計画の進捗状況等に関する調査事業は既に外部業者に委託し、効率化を図っている。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	新環境基本計画の中間見直し業務
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	専門知識を必要とする新環境基本計画の見直し業務については、一部をアウトソーシングすることで、計画の質の向上と事務の簡略化を図ることができると考えられる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(予定)	目標値(H26)
指標値	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市内の温室効果ガス排出量の削減	%	25	算定中	算定中	30	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市内のごみ排出量の削減	%	7	7	8	10	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	目標を平成32年度に設定しているため。(温室効果ガス排出量平成11年度比30%削減、ごみ排出量平成20年度比20%削減)							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	温室効果ガス排出量とごみ排出量は、ともに減少傾向にあり、一人一人の意識の向上を図ることで、より効率的な施策の推進が可能であるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成26年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	平成26年度に市温暖化防止実行計画の見直しを行った。
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	新環境基本計画の中間見直しを実施する。
現在抱える課題とその対策	課題: 中間時点における新環境基本計画の指標や取組内容について、達成状況や社会情勢に即した見直しが必要である。 対策: 平成27年度に新環境基本計画の中間見直しを実施する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	本事業は「環境にやさしいまちづくり」の根幹をなすものである。平成27年度に実施する中間見直しを踏まえ、市民・事業者との協働体制の更なる確立を図るとともに、継続的な施策の実施が必要である。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境にやさしい課		担当課長名	北浦 博	
(※)第1期実施計画の事業名	低炭素社会推進事業		財務会計上の事業名	低炭素社会推進事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3041	2	財務会計上の短縮番号	3569	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目1地球環境施策の推進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	温室効果ガスの排出を抑制し、環境にやさしい社会を形成する。
事業の対象(誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法(どのように)	環境にやさしい設備等への補助金交付や環境教育・イベントの実施等、低炭素社会の実現に向けた啓発活動を実施する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成13年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	地球温暖化対策の推進に関する法律第4条、環境教育等促進法第6条、住宅用太陽光発電システム設置他各補助金交付要綱

区分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		19,367		16,489		12,819		23,663		77.7%
主な内訳	調査委託料	0		2,415		2,484		2,500		102.9%
	雨水タンク設置費補助金	525		242		160		300		66.1%
	太陽光発電設備導入補助金	18,113		13,348		9,469		17,000		70.9%
人件費(人・千円)		0.20	1,560	0.43	3,354	0.43	3,354	0.43	3,268	100.0%
内訳	正職員	0.20	1,560	0.43	3,354	0.43	3,354	0.43	3,268	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0		0		0		0		-
	任期付職員(フルタイム)	0		0		0		0		-
	任期付職員(短時間勤務)	0		0		0		0		-
	非常勤職員	0		0		0		0		-
アルバイト		0		0		0		0		-
支出合計 A		20,927		19,843		16,173		26,931		81.5%
財源	国・府支出金	1,725		2,250		2,880		0		128.0%
	地方債									-
	その他財源	17,642		14,239		9,939		23,663		69.8%
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C		1,560		3,354		3,354		3,268		100.0%
一般財源比率 C÷A		7.5%		16.9%		20.7%		12.1%		122.7%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	環境学習推進事業調査については既に業務の一部をアウトソーシングしている。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	イベント実施業務、補助申請受付業務
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	イベント実施や補助申請受付業務などについてはアウトソーシングが可能であるが、事務量を考慮した上で費用対効果を検討する必要がある。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区分	内容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
☆		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	住宅用太陽光発電システム設置費補助件数	件	167	119	86	120	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	非住宅用太陽光発電システム設置費補助件数	件	7	7	4	8	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	太陽光発電の設置件数	件	790	1,000	1,200	-	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		目標を平成32年度に設定しているため(太陽光発電の設置件数4,000件)。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		太陽光発電設備件数は年々増加しており、目的達成のための有効な内容となっていると考えられるが、低炭素社会を推進するための技術は日々進化しており、より効率的に目的を達成するための手段が多様化しているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 24年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	非住宅用太陽光発電システム設置費補助制度の追加
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	燃料電池システム、太陽熱利用システム設置費補助制度の新設
現在抱える課題とその対策	課題 低炭素社会を推進するため、太陽光発電以外の技術についても普及促進を図る必要があること。 対策 平成27年度から燃料電池システム、太陽熱利用システム設置費補助制度を新設し、低炭素社会の推進の更なる後押しを図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	引き続き、太陽光発電等の設備導入補助、市民共同発電所の設置、環境イベントの実施や環境学習の普及促進を図ることで、低炭素社会の推進・意識向上を図っていく。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境にやさしい課	担当課長名	北浦 博
(※)第1期実施計画の事業名	-	財務会計上の事業名	ふくまるカーシェアリング事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	3562
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	車の過剰な利用を抑制することによって温室効果ガスの排出を削減し、低炭素社会の構築を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法(どのように)	複数の会員が共同で車を利用するカーシェアリングの普及を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25			
事業費(千円)	4,578	3,329	2,957	2,893	88.8%			
主な内訳	駐車場借上料	2,079	2,844	2,519	1,463	88.6%		
	修繕料	292	0	278	650	-		
	消耗品費	1,527	0	0	0	-		
人件費(人・千円)	0.30	2,340	0.22	1,716	0.22	1,672	100.0%	
内訳	正職員	0.30	2,340	0.22	1,716	0.22	1,672	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)		0	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0	0	0	0	-
	非常勤職員		0	0	0	0	0	-
	アルバイト		0	0	0	0	0	-
支出合計 A	6,918	5,045	4,673	4,565	92.6%			
財源	国・府支出金							-
	地方債							-
	その他財源	4,578	3,329					0.0%
	うち受益者負担 B							-
一般財源 C	2,340	1,716	4,673	4,565	272.3%			
一般財源比率 C÷A	33.8%	34.0%	100.0%	100.0%	294.0%			
受益者負担率 B÷A					-			
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し							
上記の内容								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	市とダイハツ工業・タイムズ24の協働により効率的に運営されているため。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(予定)	目標値(H26)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	温室効果ガスの年間排出量削減	トン	9	12	12	-	12
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	車両を配置した小学校区の数	小学校区	9	10	10	-	11
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	車両提供期間の終了にともない、事業の大幅な見直しを行ったため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	着実な会員の増加からカーシェアリングの普及、利用促進が図られているものと考えられるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成26年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	全16ステーションのうち、4ステーションを閉鎖・2ステーションを縮小・2ステーションを委託業者へ移管。	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成27年度は継続して実施するが、平成27年度末で事業終了予定。	
現在抱える課題とその対策	課題	周辺に代替ステーションがないステーションの廃止への対応。
	対策	利用者に対し、看板・メールなどの媒体で事前周知を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	これまでの事業実施により市民の間にカーシェアリングが浸透し、民間カーシェアリングステーションも普及し、初期の目標を果たしたため。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部道路課		担当課長名	和田 富士夫	
(※)第1期実施計画の事業名			財務会計上の事業名	街路灯LED化事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3041		財務会計上の短縮番号	4785	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目1地球環境施策の推進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	二酸化炭素排出量の削減及び電気代・修繕料の削減
事業の対象(誰を、何を)	市内の街路灯
事業の手段・方法(どのように)	市内の街路灯をLED灯に交換する
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成24年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25				
事業費(千円)		8,189	8,355	13,089	15,000	156.7%				
主な内訳	機器借上料	734	1,654	2,829	5,000	171.0%				
	請負費	7,455	6,701	10,260	10,000	153.1%				
人件費(人・千円)		0.28	2,184	0.28	1,574	0.27	1,496	0.25	1,310	96.4%
内訳	正職員	0.28	2,184	0.18	1,404	0.17	1,326	0.15	1,140	94.4%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0	0.10	170	0.10	170	0.10	170	100.0%
支出合計 A		10,373	9,929	14,585	16,310	146.9%				
財源	国・府支出金					-				
	地方債					-				
	その他財源			172		0.0%				
	うち受益者負担 B					-				
	一般財源 C	10,373	9,757	14,585	16,310	149.5%				
一般財源比率 C÷A		100.0%	98.3%	100.0%	100.0%	101.8%				
受益者負担率 B÷A						-				
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	LED灯の借上げ及び設置工事について、業者に発注している
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	LED化した街路灯	基	1,200	880	1,000	740	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		市内街路灯をLED灯に交換し、二酸化炭素排出量及び電気代・修繕料を削減できたため							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		市内街路灯を順次LED灯に交換することで、二酸化炭素排出量の削減と電気代・修繕料の削減につながっているため							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市内街路灯を順次LED灯に交換していく	
現在抱える課題とその対策	課 題	電気代の値上りにより、電気代が削減されない
	対 策	消費電力の大きな街路灯をLED灯へ交換することにより、電気代の削減を図る
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	環境にやさしい街路灯のLED化は今後も事業推進が必要である。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境にやさしい課	担当課長名	北浦 博
(※)第1期実施計画の事業名	ごみ減量化推進事業	財務会計上の事業名	ごみ減量化推進事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3042 1	財務会計上の短縮番号	3570
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目2循環型社会の形成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	ごみの減量化と資源化を推進する
事業の対象(誰を、何を)	市民、市民団体
事業の手段・方法(どのように)	集団回収団体や回収事業者に対する補助、ごみの減量化と資源化の啓発の推進
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和55年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市集団回収奨励金交付要綱

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25
事業費(千円)		5,645	5,450	5,224	7,460	95.9%
主な内訳	消耗品費	46	54	96	80	177.8%
	委託料	53	100	26	1,620	26.0%
	補助金	5,432	5,296	5,101	5,760	96.3%
人件費(人・千円)		0.45 1,680	0.25 1,035	0.28 1,269	0.28 1,243	112.0%
内訳	正職員	0.15 1,170	0.10 780	0.13 1,014	0.13 988	130.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	アルバイト	0.30 510	0.15 255	0.15 255	0.15 255	100.0%
支出合計 A		7,325	6,485	6,493	8,703	100.1%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他財源	5,645	5,450	5,224	7,460	95.9%
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	1,680	1,035	1,269	1,243	122.6%
一般財源比率 C÷A		22.9%	16.0%	19.5%	14.3%	122.5%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業については、主に市民及び市民団体による自主的な活動への補助や啓発を目的としているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
☆	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	集団回収量	トン	1,844	1,780	1,714	1,800	1,800
			資源化率	%	11.9	12.0	12.0	12.5	-
			集団回収実施団体	団体	106	107	109	110	110
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		集団回収量が減少し、目標値に達しなかったため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		集団回収量は減少しているものの、資源化率及び実施団体数は増加傾向にあることから、現制度の継続が有効的、効率的であると判断できるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	集団回収の促進に向け、啓発を行っていく。
現在抱える課題とその対策	課 題 集団回収量の減少 対 策 ごみ減量・資源化のPRを促進し、集団回収団体数及び回収量の確保を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	集団回収制度は本市のリサイクル量の約半分を占めており、リサイクル率の向上に大きく寄与している。今後も継続的に集団回収の促進を呼びかけていく。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境にやさしい課	担当課長名	北浦 博
(※)第1期実施計画の事業名	指定袋制実施事業	財務会計上の事業名	指定袋制実施事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3042 2	財務会計上の短縮番号	3695
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目2循環型社会の形成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	ごみの減量・資源化を推進し、環境負荷の少ない循環型社会づくりを進める。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	燃えるごみ、燃えないごみは指定袋で、粗大ごみは処理券で排出することとし、有料で販売。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成18年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 第7条の2

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25	
事業費(千円)	41,517	56,273	61,771	70,505	109.8%	
主な内訳	消耗品費	10,310	31,263	37,455	41,197	119.8%
	配布管理委託料	13,679	12,476	11,892	14,580	95.3%
	指定袋取扱委託料	10,855	11,706	11,484	12,266	98.1%
人件費(人・千円)	2.15 8,230	1.29 5,792	1.29 5,792	1.29 5,674	100.0%	
内訳	正職員	0.75 5,850	0.59 4,602	0.59 4,602	0.59 4,484	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
アルバイト	1.40 2,380	0.70 1,190	0.70 1,190	0.70 1,190	100.0%	
支出合計 A	49,747	62,065	67,563	76,179	108.9%	
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他財源	41,517	56,273	61,771	70,505	109.8%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	8,230	5,792	5,792	5,674	100.0%	
一般財源比率 C÷A	16.5%	9.3%	8.6%	7.4%	91.9%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	製造、配布管理、販売を委託している。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	収納事務
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	指定販売店からの指定袋販売手数料の収納事務。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(予定)	目標値(H26)
指標値	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	池田市内のごみ排出量	トン	32,511	32,397	32,197	32,000	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	市内のごみ排出量が想定通り減少しなかったため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	平成18年度の制度開始以降大幅にごみ排出量が減少し、平成24年度の制度改定以降も一貫して減少しているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 24年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	燃えるごみ用指定袋の無料配布制度を縮小。乳幼児世帯・高齢者世帯・障がい者世帯に限定。
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	一定の成果を得られており、平成27年度も同内容を継続して実施する。
現在抱える課題とその対策	課題: 指定袋等を使用しない不適正排出 対策: ごみ収集日程表や市広報誌、ホームページなどで正しいゴミ分別の啓発を行っていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	24年度の全量有料化により、約1,300tのごみ排出量の削減効果が見られるが、更なるごみの減量およびリサイクル率の向上を目指すため、引き続き、ごみ分別の周知など、3Rの啓発を推進する。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境にやさしい課	担当課長名	北浦 博
(※)第1期実施計画の事業名	家電リサイクル推進事業	財務会計上の事業名	リサイクル推進事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3042 4	財務会計上の短縮番号	3585
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目2循環型社会の形成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	不法投棄された特定家電4品目の適正処理 市民に適正排出を促し、リサイクルの推進を図る
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	不法投棄された特定家電4品目の処理の委託 容器包装リサイクル対象品目の再商品化の委託
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成13年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	家電リサイクル法、容器包装リサイクル法

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25
事業費(千円)		92	5,618	3,349	7,740	59.6%
主な内訳	印刷製本費	0	0	0	20	-
	手数料	92	55	50	200	90.9%
	処分委託料	0	5,563	3,299	7,520	59.3%
人件費(人・千円)		0.15 1,170	0.14 1,092	0.16 1,248	0.16 1,216	114.3%
内訳	正職員	0.15 1,170	0.14 1,092	0.16 1,248	0.16 1,216	114.3%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	アルバイト	0	0	0	0	-
支出合計 A		1,262	6,710	4,597	8,956	68.5%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他財源			3,349	7,740	-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	1,262	6,710	1,248	1,216	18.6%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	27.1%	13.6%	27.1%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他(専門業務)
上記の内容	トレイ類の異物除去業務の委託については、作業の効率化及び保管場所負担の低減に効果がみられる。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	不法投棄防止の啓発や委託業者との契約が主な業務であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特定家電4品目の不法投棄台数	台	30	37	26	30	30
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	資源化率	%	11.9	12.0	12.0	12.5	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		特定家電4品目の不法投棄台数が減少しているため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		特定家電4品目の不法投棄台数が減少しており、不法投棄防止啓発の成果が見られるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成25年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	家電リサイクル推進事業に容器包装リサイクル法関係を組み込んでリサイクル推進事業とした。	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	特定家電4品目の不法投棄防止と容器包装の適正な資源化のため、現状の取り組みが必要	
現在抱える課題とその対策	課 題	資源化率の更なる向上
	対 策	適正排出の啓発を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	家電リサイクル法及び容器包装リサイクル法の施行から長期間経過し、市民の間にもリサイクルの意識は定着している。今後もリサイクル率の向上のため、分別の徹底の啓発をはじめ各種リサイクル施策を実施していく。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境にやさしい課		担当課長名	北浦 博	
(※)第1期実施計画の事業名	レジ袋削減等推進事業		財務会計上の事業名	レジ袋削減等推進事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3042	5	財務会計上の短縮番号	3579	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目2循環型社会の形成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	レジ袋の排出抑制をはじめとする3Rの推進ならびに、ごみの減量化をめざす。
事業の対象(誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法(どのように)	平成18年度に設立した「池田市レジ袋削減等3R推進協議会」において、市民団体、事業者団体との協働によるレジ袋削減事業を展開する、
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成18年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市レジ袋削減等3R推進協議会補助金交付要綱

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		200		100		100		100		100.0%
主な内訳	補助金	200		100		100		100		100.0%
										-
										-
人件費(人・千円)		0.15	1,170	0.17	1,326	0.17	1,326	0.17	1,292	100.0%
内訳	正職員	0.15	1,170	0.17	1,326	0.17	1,326	0.17	1,292	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		1,370		1,426		1,426		1,392		100.0%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,370		1,426		1,426		1,392		100.0%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市内事業所・北摂市町村・学校などとの連携が必要であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	各種イベントによる啓発活動	回	4	4	3	4	4
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	小学校への出前授業	回	-	3	8	9	11
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		他イベントとの日程の都合上、当初予定していたイベントを開催できなかったため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	協議会には商店主や婦人会などが加盟しており、多種多様な意見をくみ取ることができている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成25年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	小学校出前授業の実施。
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	一定の成果を得られており、平成27年度も同内容を継続して実施する。
現在抱える課題とその対策	課 題 レジ袋削減に向けて、事業者・市民に対する広域的な働きかけ 対 策 北摂都市間で連携を取り、多都市展開している事業者への広域的な働きかけや共通キャンペーンを実施していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	レジ袋削減をはじめとするごみの発生抑制を推進していくため、市民団体や事業者、学校と連携し、普及啓発を継続的に進めていく。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境にやさしい課		担当課長名	北浦 博	
(※)第1期実施計画の事業名	まち角図書館補助事業		財務会計上の事業名	まち角図書館補助事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3042	6	財務会計上の短縮番号	800	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目2循環型社会の形成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	市内11小学校区に無人・無施錠の本棚を設置し、24時間無料で貸し出す。
事業の対象(誰を、何を)	池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会
事業の手段・方法(どのように)	蔵書は市民からの寄贈、本の整理などは市民団体のボランティアで実施 池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会への補助金の交付
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成元年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会補助金交付要綱

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25
事業費(千円)		100	300	150	150	50.0%
主な内訳	補助金	100	300	150	150	50.0%
						-
						-
人件費(人・千円)		0.06	468	0.08	624	100.0%
内訳	正職員	0.06	468	0.08	624	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0	-
	非常勤職員		0		0	-
	アルバイト		0		0	-
支出合計 A		568	924	774	758	83.8%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	568	924	774	758	83.8%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	管理運営はまち角に図書館をつくる運動実行委員会がボランティアで行っているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	古本回収量	冊	5,025	8,348	8,438	8,000	8,000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		広く市民に定着しており、古本回収量も増加しているため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	市民の善意により低コストで運営できており、本のリサイクルに大きな役割を果たしている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	毎月の古本回収および施設の定期的な修繕を行っていく。
現在抱える課題とその対策	課 題 施設の老朽化 対 策 施設の長寿命化をめざし、計画的に修繕を行っていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	今後もまち角図書館実行委員会と連携し普及啓発を図るとともに、老朽化した施設の修繕計画を立て、計画的な修繕を実施していく。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 業務センター		担当課長名	西田 忠由
(※)第1期実施計画の事業名	ごみ収集事業		財務会計上の事業名	ごみ収集事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3042	8	財務会計上の短縮番号	3665
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	多様化するごみの組成に対応し、収集作業の効率化と市民サービスの向上を図るとともに、収集車両の適正管理に努める。
事業の対象(誰を、何を)	生活系一般廃棄物
事業の手段・方法(どのように)	分別収集と指定日収集
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条、第6条

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25	
事業費(千円)	63,374	64,797	72,759	85,288	112.3%	
主な内訳	燃料費	7,263	7,187	7,405	7,936	
	修繕料	5,584	6,653	7,559	6,560	
	ごみ収集業務委託料	49,253	49,253	56,395	69,213	
人件費(人・千円)	59.00 329,000	61.00 318,300	61.00 318,300	61.00 295,500	100.0%	
内訳	正職員	35.00 273,000	33.00 257,400	33.00 257,400	31.00 241,800	100.0%
	再任用短時間勤務職員	8.00 28,800	7.00 25,200	7.00 25,200	5.00 18,000	100.0%
	任期付職員(フルタイム勤務)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
アルバイト	16.00 27,200	21.00 35,700	21.00 35,700	21.00 35,700	100.0%	
支出合計 A	392,374	383,097	391,059	380,788	102.1%	
財源	国・府支出金	0	0	0	0	-
	地方債	0	0	0	0	-
	その他財源	4,420	4,439	3,575	4,390	80.5%
	うち受益者負担 B	4,420	4,439	3,575	4,390	80.5%
	一般財源 C	387,954	378,658	387,484	376,398	102.3%
一般財源比率 C÷A	98.9%	98.8%	99.1%	98.8%	-	
受益者負担率 B÷A	1.1%	1.2%	0.9%	1.2%	-	
受益者負担の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済 平成18年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容	指定ごみ袋制度					

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他()
上記の内容	粗大ごみ・紙類ごみ及び一部地域の可燃ごみの収集を業者委託
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	可燃ごみ、資源ごみの収集(他は委託済み)
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他()
上記の内容	人件費の差額相当分の削減
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区分	内容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値(H26)
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ごみ収集量	トン	19,335	19,250	19,051	19,151	18,247	
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		ごみ分別収集の徹底による減量化ならびに収集作業の効率化が図られている							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	24年度から「粗大ごみ・燃えないごみ」及び「紙類ごみ」、26年度から「可燃ごみ(空き缶・空きびん)」の一部地域の収集を委託しているが、さらなる委託可能な部分があるため							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成24年度～ <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	24年度から「粗大ごみ・燃えないごみ」及び「紙類ごみ」、26年度から「可燃ごみ(空き缶・空きびん)」の一部地域の収集を委託している
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	人員配置を考慮しながら、順次委託化を実施している
現在抱える課題とその対策	課題: 最終委託化率の検討 対策: 災害時等の緊急事務を近隣市町と連携した委託化率とする
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	危機管理体制を確保しながら、委託化を進め、効率的な事業を目指す

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 業務センター		担当課長名	西田 忠由
(※) 第1期実施計画の事業名	し尿収集事業		財務会計上の事業名	ごみ収集事業
(※) 第1期実施計画の分類番号/事業番号	3042	9	財務会計上の短縮番号	3710
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	し尿収集の効率化を図るとともに、収集車両の適正管理に努める
事業の対象(誰を、何を)	下水道未接続の便槽・浄化槽
事業の手段・方法(どのように)	し尿の定期収集と臨時収集及び浄化槽の清掃と保守点検の実施
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条、第6条

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25	
事業費(千円)	826	779	945	1,129	121.3%	
主な内訳	燃料費	324	371	403	448	
	修繕料	372	247	329	400	
人件費(人・千円)	2.00 15,600	2.20 17,160	2.20 17,160	2.20 17,160	100.0%	
内訳	正職員	2.00 15,600	2.20 17,160	2.20 17,160	2.20 17,160	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム勤務)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
アルバイト	0	0	0	0	-	
支出合計 A	16,426	17,939	18,105	18,289	100.9%	
財源	国・府支出金	0	0	0	0	-
	地方債	0	0	0	0	-
	その他財源	826	779	945	1,129	121.3%
	うち受益者負担 B	826	779	945	1,129	121.3%
	一般財源 C	15,600	17,160	17,160	17,160	100.0%
一般財源比率 C÷A	95.0%	95.7%	94.8%	93.8%	-	
受益者負担率 B÷A	5.0%	4.3%	5.2%	6.2%	-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	昭和45年頃まで許可制により収集していたが、許可区域を全面撤回し、損失補填して全市直営収集を実施した経緯があるため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区分	内容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値(H26)
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指標値		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	定期・臨時・公共収集	件	255	314	329	300	300
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	浄化槽清掃	件	75	70	60	60	60
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		し尿収集の効率化、安全作業の推進に努めた							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		昭和45年頃まで許可制により収集していたが、許可区域を全面撤回し、損失補填して全市直営収集を実施した経緯があるため						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	下水道の接続状況を把握しながら事業を実施していく
現在抱える課題とその対策	課題: なし 対策: なし
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	下水道普及率は100%となっているものの、未接続や臨時的収集など継続して事業を実施する必要がある

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰	
(※)第1期実施計画の事業名	ごみ処理事業		財務会計上の事業名	ごみ処理事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3042	10	財務会計上の短縮番号	3675	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目2循環型社会の形成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	一般廃棄物の焼却とリサイクルを公害防止を図りながら進め、廃棄物を適正に処理する
事業の対象(誰を、何を)	市民及び市内事業者
事業の手段・方法(どのように)	焼却処理、破砕処理、ペットボトル減容等一般廃棄物の受入と処理
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		119,846		132,909		142,736		152,378		107.4%
主な内訳	消耗品費	56,960		57,550		58,115		58,509		101.0%
	燃料費	3,194		3,020		4,007		5,490		132.7%
	光熱水費	48,159		61,277		66,419		74,694		108.4%
人件費(人・千円)		29.50	210,540	29.50	206,340	28.40	184,320	28.10	177,860	96.3%
内訳	正職員	26.20	204,360	25.20	196,560	20.90	163,020	20.60	156,560	82.9%
	再任用短時間勤務職員	0.30	1,080	1.30	4,680	4.50	16,200	4.50	16,200	346.2%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	3.00	5,100	3.00	5,100	3.00	5,100	3.00	5,100	100.0%
支出合計 A		330,386		339,249		327,056		330,238		96.4%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源	123,593		113,479		109,343		97,525		96.4%
	うち受益者負担 B	123,593		113,479		109,343		97,525		96.4%
	一般財源 C	206,793		225,770		217,713		232,713		96.4%
一般財源比率 C÷A		62.6%		66.5%		66.6%		70.5%		100.0%
受益者負担率 B÷A		37.4%		33.5%		33.4%		29.5%		99.9%
受益者負担の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済 平成24 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		指定袋の無料配布の廃止及び手数料の変更、クリーンセンター持込ごみ処理手数料の変更								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	専門性が高い業務を委託している。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	焼却施設の運転管理業務等で導入可能。
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	職員の高齢化、自然減に対応して民間委託の検討が必要。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	適切な廃棄物処理	t	30,667	30,617	30,483	29,429	—
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況			<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由			廃棄物を排ガス基準等の法令を遵守し、適正に処理することができた。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		ごみ減量の取り組みと共にいっそうの経費節減のための検討が必要。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成24年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	指定袋の無料配布の廃止及び手数料の変更、クリーンセンター持込ごみ処理手数料の変更	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	人員減の中で運転管理体制を見直して、直営を維持。	
現在抱える課題とその対策	課 題	新規採用がない中での技能職員の高齢化及び人員の自然減
	対 策	夜勤運転の人員配置の見直しの実施、基幹的設備改良事業後の民間委託導入の検討
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	運転人員が確保できる間は直営を維持する。ただし、近い将来の民間委託に備えての検討が必要である。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰	
(※)第1期実施計画の事業名	ごみ処理事業(最終処分)		財務会計上の事業名	ごみ処理事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3042	11	財務会計上の短縮番号	3675	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目2循環型社会の形成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	再資源化を促進し、循環型社会の形成に寄与する
事業の対象(誰を、何を)	資源物及び粗大ごみ・不燃物、焼却灰
事業の手段・方法(どのように)	資源物の選別・処理、粗大ごみ・不燃物の処理、一般廃棄物の最終処分に係る業務を委託して実施する
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25
事業費(千円)		118,017	112,340	115,743	132,149	103.0%
主な内訳	処分委託料	118,017	112,340	115,743	132,149	103.0%
						-
						-
人件費(人・千円)		0.30 2,340	0.30 2,340	0.50 3,900	0.50 3,800	166.7%
内訳	正職員	0.30 2,340	0.30 2,340	0.50 3,900	0.50 3,800	166.7%
	再任用短時間勤務職員	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(フルタイム)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	非常勤職員	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	アルバイト	0 0	0 0	0 0	0 0	-
支出合計 A		120,357	114,680	119,643	135,949	104.3%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	120,357	114,680	119,643	135,949	104.3%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	粗大ごみの受け入れ選別、焼却灰の搬送等を民間委託し、コスト削減、事務の簡略化を図っている。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	最終処分量	t	4,829	4,806	4,761	4,361	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		廃棄物の受け入れから最終処分まで遅滞なく行うことができた。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	ごみ減量とともに、資源物分別の徹底に取り組んでいく必要がある。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	運転管理、計量業務以外の作業(手選別作業、資源物の受け入れほか)を委託。	
現在抱える課題とその対策	課 題	委託業務の内容の見直しが必要。
	対 策	資源化率の向上、経費の削減等を目的とした見直しを行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	ごみ排出総量の削減を基本として、資源物分別の徹底に取り組み、リサイクル率の向上を目指す。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰
(※)第1期実施計画の事業名	クリーンセンター管理・運営事業		財務会計上の事業名	クリーンセンター管理・運営事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3042	12・13	財務会計上の短縮番号	3680・3685
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	クリーンセンターを適切に効率よく管理・運営する
事業の対象(誰を、何を)	クリーンセンター
事業の手段・方法(どのように)	施設の保守点検、上下水道の使用量及び日用消耗品の管理等
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		9,784		10,143		93,179		86,405		918.7%
主な内訳	設備保守点検委託料	3,769		4,722		87,906		80,631		1861.6%
	燃料費	465		482		513		513		106.4%
	光熱水費	1,817		2,082		1,698		2,189		81.6%
人件費(人・千円)		3.20	12,760	2.60	14,180	3.30	15,440	3.00	14,100	126.9%
内訳	正職員	1.20	9,360	1.60	12,480	1.30	10,140	1.30	9,880	81.3%
	再任用短時間勤務職員		0		0	1.00	3,600	0.70	2,520	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	2.00	3,400	1.00	1,700	1.00	1,700	1.00	1,700	100.0%
支出合計 A		22,544		24,323		108,619		100,505		446.6%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源	74		65		103		91		158.5%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	22,470		24,258		108,516		100,414		447.3%
一般財源比率 C÷A		99.7%		99.7%		99.9%		99.9%		100.2%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 設備保守
上記の内容	設備の保守点検、施設の警備業務を委託し、良好な施設の管理・運営ができています。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	その他の業務は直営で取り組んだ方が効率的かつ安定した管理ができる。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	上水道使用量(月量)	t	403	462	386	490	500
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		上水道使用量(月量)の目標達成等、安定した運転管理ができています。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	定期点検業務が修繕事業から保守点検委託料に変更されたことに伴い、事業費が増加しているが、施設管理は効率的にできています。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成26年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	定期点検業務を修繕事業から保守点検委託料に変更し、その位置付けを明確化した。
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	継続して安定した管理・運営に努める。
現在抱える課題とその対策	課 題 委託業務以外の事業について、効率的な施設の管理・運営の維持。 対 策 職員の意識向上とスキルアップを図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	個々の職員がそれぞれの業務において、常に高いモチベーションを保つことにより、質の高い管理・運営を目指す。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰	
(※)第1期実施計画の事業名	クリーンセンター修繕事業		財務会計上の事業名	クリーンセンター修繕事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3042	14	財務会計上の短縮番号	3690	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目2循環型社会の形成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	クリーンセンターの施設故障を減少させ、能力の保全を図り、円滑な処理を進める
事業の対象(誰を、何を)	クリーンセンター
事業の手段・方法(どのように)	各種施設の予防保全等、適切な維持管理を行う
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		259,769		249,946		168,879		130,000		67.6%
主な内訳	修繕料	259,769		249,946		168,879		130,000		67.6%
										-
人件費(人・千円)		0.90	4,920	0.90	4,920	1.10	6,480	1.10	6,360	122.2%
内訳	正職員	0.40	3,120	0.40	3,120	0.60	4,680	0.60	4,560	150.0%
	再任用短時間勤務職員	0.50	1,800	0.50	1,800	0.50	1,800	0.50	1,800	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		264,689		254,866		175,359		136,360		68.8%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	264,689		254,866		175,359		136,360		68.8%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	包括管理契約において導入することが可能
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	運転管理をあわせた委託を行うことで事務の合理化は可能。コスト削減及びサービス向上については不明。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果		修繕件数	件	42	42	44	10	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		予防保全を基本とした修繕計画に基づいて、適切に修繕が実施できた。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	安定稼働、迅速な処理が求められる施設として、さらなる予防保全等の取組が必要。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成26年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	定期点検に係る事業費を修繕料から保守点検委託料に変更。
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	28年度から予定している基幹的設備改良事業との整合を図っている。
現在抱える課題とその対策	課 題 老朽化が進む施設の故障対応に苦慮している。 対 策 長寿命化計画の中で基幹的設備改良に委ねる設備とその他の設備の仕分け等を行い、効率的な修繕を進める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	安定稼働を基本として、今後予定している基幹的設備改良工事を見据えた効率的な修繕を実施する。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰	
(※)第1期実施計画の事業名	大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業		財務会計上の事業名	大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3042	15	財務会計上の短縮番号	3630	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目2循環型社会の形成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	最終処分場確保のため、大阪湾広域臨海環境整備センターが行う大阪湾圏域広域処分場整備事業(大阪湾フェニックス計画)に参画する
事業の対象(誰を、何を)	大阪湾広域廃棄物埋立処分場
事業の手段・方法(どのように)	大阪湾フェニックス計画の事業進捗状況に応じた工事負担金の支出を行う
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		2,024		239		58		1,143		24.3%
主な内訳	廃棄物埋立処分場整備委託料	2,024		239		58		1,143		24.3%
										-
人件費(人・千円)		0.20	1,560	0.20	1,560	0.20	1,560	0.20	1,520	100.0%
内訳	正職員	0.20	1,560	0.20	1,560	0.20	1,560	0.20	1,520	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		3,584		1,799		1,618		2,663		89.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	3,584		1,799		1,618		2,663		89.9%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	本事業自体が大阪湾広域臨海環境整備センターへの委託事業である。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	廃棄物最終処分場での処理	t	4,829	4,806	4,761	4,361	—
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	センター事業費(池田市負担分)	千円	3,034	368	99	1,714	—
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		遅滞なく廃棄物の最終処分ができた。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		整備委託料を負担することで、ごみの埋立処分が適正にできた。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	埋立処分場の延命化のため、継続して取り組んでいる。	
現在抱える課題とその対策	課 題	今後の埋立処分場の確保が必要。
	対 策	現時点では現在の処分場の延命を図るため、ごみの減量を進める必要がある。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	処分場の延命化、処分料の高騰などに対処するためにも、ごみの減量、分別の徹底によるリサイクル率の向上を図る。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境をまもる課		担当課長名	上原 正和
(※)第1期実施計画の事業名	環境監視対策事業		財務会計上の事業名	環境監視対策事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3043	1	財務会計上の短縮番号	3560
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目3地域環境の向上		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	公害発生の抑制と環境基準の達成
事業の対象(誰を、何を)	工場、事業所
事業の手段・方法(どのように)	水質、騒音等の測定を定期的実施するとともに、工場・事業所に対して立入り調査をし、規制基準の遵守の確認・指導を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	騒音規制法、振動規制法、及び池田市環境保全条例等

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25
事業費(千円)		3,477	3,258	2,933	4,438	90.0%
主な内訳	調査委託料	2,979	2,658	2,584	3,853	97.2%
	自動車借上料	297	215	137	137	63.7%
	燃料費	77	75	73	128	97.3%
人件費(人・千円)		0.61 3,480	0.60 3,696	0.58 4,368	0.58 4,256	96.7%
内訳	正職員	0.34 2,652	0.40 3,120	0.56 4,368	0.56 4,256	140.0%
	再任用短時間勤務職員	0.23 828	0.16 576	0 0	0 0	0.0%
	管理公社職員	0.04 0	0.04 0	0.02 0	0.02 0	50.0%
	任期付職員(短時間勤務)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	非常勤職員	0 0	0 0	0 0	0 0	-
アルバイト		0 0	0 0	0 0	0 0	-
支出合計 A		6,957	6,954	7,301	8,694	105.0%
財源	国・府支出金	572	587	731	600	124.5%
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		6,385	6,367	6,570	8,094	103.2%
一般財源比率 C÷A		91.8%	91.6%	90.0%	93.1%	98.3%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	水質、騒音等の測定を業者に委託し、定期的実施している。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	法律及び条令に基づいた指導であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水質、騒音等の測定	回	50	50	50	50	50
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	工場・事業所への立入り調査	回	2	4	1	5	5
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市民からの公害苦情の解決	件	53	59	64	50	50
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水道法関係の測定	回		5	3	3	3
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		根拠法令に基づき適正に対処し解決できたため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	環境監視のため、水質と騒音の測定は不可欠である。公害苦情に関しては、関係法令に基づき処理し、苦情者の了承を得られている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	これまでの取り組みが有効、効率的であると判断し、同内容で継続実施する。
現在抱える課題とその対策	課 題 昨年に引続き、公害発生の抑制と環境基準の達成 対 策 公害や環境基準については、測定や立入り調査により環境監視に努める。苦情処理については、迅速に対応し解決に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	測定や立入り調査により環境監視に努めるとともに、増加傾向にある公害苦情にも適切に対処していく。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境をまもる課		担当課長名	上原 正和
(※)第1期実施計画の事業名	阪神高速道路大気観測維持管理事業		財務会計上の事業名	阪神高速道路大気観測維持管理事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3043	2	財務会計上の短縮番号	3555
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目3地域環境の向上		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	市内の大気汚染の状況を把握する。
事業の対象(誰を、何を)	阪神高速道路大気観測局(神田、木部・新宅局)
事業の手段・方法(どのように)	阪神高速道路大気観測局(神田、木部・新宅局)において、大気汚染物質の常時観測を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25				
事業費(千円)		6,163	6,213	6,183	7,029	99.5%				
主な内訳	管理委託料	5,355	5,355	5,616	5,940	104.9%				
	電気使用料	260	307	318	339	103.6%				
	土地借上料	156	156	156	156	100.0%				
人件費(人・千円)		0.20	1,224	0.17	1,158	0.21	1,638	0.21	1,596	123.5%
内訳	正職員	0.12	936	0.13	1,014	0.21	1,638	0.21	1,596	161.5%
	再任用短時間勤務職員	0.08	288	0.04	144		0		0	0.0%
	任期付職員(フルタイム勤務)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		7,387	7,371	7,821	8,625	106.1%				
財源	国・府支出金					-				
	地方債					-				
	その他財源	6,163	6,213	6,183	7,029	99.5%				
	うち受益者負担 B					-				
	一般財源 C	1,224	1,158	1,638	1,596	141.5%				
一般財源比率 C÷A		16.6%	15.7%	20.9%	18.5%	133.3%				
受益者負担率 B÷A						-				
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	大気観測局の維持管理や臨時点検を業者に委託している。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
☆	☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	神田局大気観測局測定項目	項目	3	3	3	3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	木部・新宅局大気観測局測定項目	項目	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		定点観測によりPM2.5など、市内の大気汚染の状況を把握できているため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		市民の関心の高いPM2.5を中心とした1時間ごとの測定値を市ホームページなどで即時(リアルタイム)公開できている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成24年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	平成24年度からPM2.5の測定を開始し、平成25年度からホームページによりリアルタイムで測定値を公開したこと。
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	市内の大気汚染の状況を把握できている。
現在抱える課題とその対策	課 題 財源である基金の減少。 対 策 測定局の再編や、コスト削減などに努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	PM2.5をはじめとする大気汚染状況の市民への提供は引き続き実施していくが、これまでの測定値の変遷などを勘案し、観測局の再編等、経費の削減を図る。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境にやさしい課		担当課長名	北浦 博	
(※)第1期実施計画の事業名	環境美化推進事業		財務会計上の事業名	環境美化推進事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3043	3	財務会計上の短縮番号	3565	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目3地域環境の向上			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	環境美化に対する市民意識の向上を図る
事業の対象(誰を、何を)	市民、市民団体
事業の手段・方法(どのように)	ごみゼロデーや清掃デーなどの地域清掃の実施を広報誌などを通じて呼びかけ、多くの市民、市民団体の参加を促す。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和55年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市美しいまち推進条例

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		74		47		158		556		336.2%
主な内訳	消耗品費	0		0		134		0		-
	通信運搬費	6		17		17		25		100.0%
	補助金	68		30		7		300		23.3%
人件費(人・千円)		0.40	1,900	0.25	1,340	0.22	1,106	0.22	1,082	88.0%
内訳	正職員	0.20	1,560	0.15	1,170	0.12	936	0.12	912	80.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.20	340	0.10	170	0.10	170	0.10	170	100.0%
支出合計 A		1,974		1,387		1,264		1,638		91.1%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,974		1,387		1,264		1,638		91.1%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業については、主に市民及び市民団体による自主的な活動への参加促進を目的としているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指標値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	清掃デー参加人数	人	4,998	4,977	5,075	5,000	5,000
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ごみ散乱防止ケージ補助金交付件数	件	3	2	1	2	2
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		清掃デー参加人数の増加							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	地域清掃への参加人数は増加しつつあり、市民、市民団体の環境美化意識の向上に有効的、効果的である。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成24年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	ごみ散乱防止ケージへの補助事業を開始
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	環境美化に対する市民意識の向上を図るため、継続的に啓発等を実施する。
現在抱える課題とその対策	課 題: ごみ散乱防止ケージ補助金交付件数の減少 対 策: 広報誌やホームページ上でのPR強化
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	ごみゼロデーや清掃デーなどの地域清掃の実施を主体とした環境美化活動に加え、ごみ散乱防止ケージの補助によるカラス等被害防止対策を引き続き行うとともに、自治会などの各種団体との連携による環境美化活動を継続して行う。